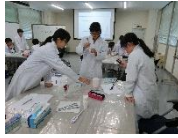


H30.10~H31.1 SSH活動報告

■ 企業連携学習～トクヤマ～ 10月10日(火)

株式会社トクヤマを訪問し、実際に企業での研究を体験させていただきました。印象材(歯型を採る材料)が最適な時間で固まるための条件を見つけるため、さまざまな実験を行うことで「研究とは何か?」を改めて考える機会になりました。



■ ライフサイエンス特別講義(保健分野) 11月12日(月)

理数科1年次生40名が、九州大学大学院工学研究院の守田幸路教授より、原子力エネルギーシステムについての講義を受けました。

■ ライフサイエンス特別講義(生活科学分野) 11月15日(木)

理数科2年次生39名が、浅野燃系株式会社の浅野雅巳社長より、魔法のタオルで倒産寸前の会社をV字回復させたサクセスストーリーを交えた講義を受けました。

■ 科学の甲子園・山口県大会 11月17日(土)

祝! 全国大会出場!!

科学の甲子園山口県大会が山口県セミナーパークで行われました。当日は、全県から12校21チームが集い、全国大会の切符を得るべく、1チーム6名編成により筆記競技と実技競技(実験競技・総合競技)が繰り広げられました。本校からはA~Cの3チームが出場し、見事、徳高Aチームが2年ぶり4回目の優勝を果たしました。実技競技では、徳高Aチーム・Bチームがダブル優勝を達成し会場を沸かせました。またCチームも1年生ながら健闘し、来年度にも期待が持てる結果となりました。なお、優勝したAチームは、3月15日から埼玉県さいたま市で開催される全国大会に出場します。活躍を期待しましょう。



■ 日本分子生物学会 11月29日(木)~30日(金)

高校生が国内最大級の学会に参加!!

横浜で開催された日本分子生物学会の高校生口頭発表・ポスター発表部門に「瀬戸内海に生息する石油分解菌の性質」のテーマで課題研究を行っている理数科2年次生の4名が参加しました。名だたる大学教授や学生たちと議論することで多くの刺激を受けました。



■ 周南ゆめ物語～かがくスクエア～ 12月9日(日)

子どもたちに科学のおもしろさを!!

ゆめタウン下松で「周南ゆめ物語～かがくスクエア～」が開催されました。このイベントは、科学の不思議やおもしろさを感じる実験を行い、科学に興味を持ってもらおうというもので、本校からは科学部の生徒が参加しました。化学班は「つかめる魔法の水」を、数学班は「錯覚の不思議」を体験できるブースを出展し、地元の科学好きの子どもたちの育成に大いに貢献した一日でした。



■ マレーシア研修 1月4日(金)~9日(水)

1日目!! (1月4日)

いよいよマレーシアへ向けて出発。1日目はマラッカのホテルに宿泊。夕食は「チキンライス」!



2日目!! (1月5日)

MP ファザー中等教育学校の生徒たちと市街地研修。その後、学校にて環境問題についてのグループ発表及びディスカッションを行いました。



3日目!! (1月6日)

バードパークで熱帯地方の鳥類を観察、マシド・初ラ(モカ)にて講義「科学技術の発展とイスラム文化」を受講、バックアップで英語の解説を聞きながら洞窟内に生息している生物を調査し、パトナツツワ-を見学しました。



4日目!! (1月7日)

マラヤ大学の附設熱帯植物園を見学。その後、マラヤ大学、およびマラ工科大学で大学の講義を現地の学生とともに受講しました。夜はマラ工科大学の学生から熱烈的なウエルカムセレモニーを受け、楽しいひとときを過ごすことができました。



5日目!! (1月8日)

アブラヤのプランテーションを見学。どこまでも続くアブラヤの光景に心が奪われました。アブラヤの実を収穫する様子を見学したり、より多くの油を生産するための品種改良についての説明を受けたりし、最後は種子の植え付けを体験させていただきました。



重点枠の活動報告と予定

昨年度より始まった「科学技術人材育成重点枠（社会との共創）」についてです。本校生徒だけでなく県内の高校生を対象に、生徒環境講座を実施しています。

<活動報告>

■ 第5回講座 10月28日(日)

午前中は、北九州市環境ミュージアムにて、北九州市が取り組んできた公害問題の歴史に関する講義を受けました。環境への配慮を最重視した家「エコハウス」の見学では、これでもか！と思わせてくれる工夫が、随所に散りばめられていました。午後からは北九州市立大学に移動し、安井教授より「環境汚染を解決する微生物の科学」を受講し研究室を見学しました。



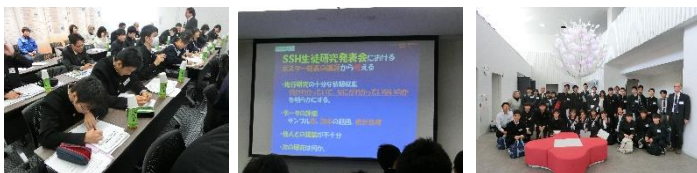
参加者25名（内、徳山高校生6名）

～生徒の感想～

- さまざまな公害を乗り越えて、現在では世界のモデルとなるような環境都市になっていく過程や人々の苦労などを知ることができ、とても感心しました。
- 環境汚染を解決していくためには、環境についての知識も十分に大切ですが、それらに劣らないくらい「環境を保全していこうとする良心」というのが重要なのだと感じました。

■ 第6回講座 11月11日(日)

東ソー株式会社の一室をお借りして、広島大学の西堀准教授による「発表に向けたポスター作成の基礎」の講義を聞きました。西堀先生からは、ポスターの作成方法だけではなく、研究の始め方からご講義いただき、今後の研究活動に向けてさらにモチベーションが上がるものとなりました。午後からは、東ソー株式会社の方から「企業における環境保全活動」に関する講義を聞き、工場見学を行いました。普段見ることができない工場内はとても広く、さまざまな設備に圧倒されるばかりでした。



参加者27名（内、徳山高校生9名）

～生徒の感想～

- ポスター作成の講義の中で出た「自分の興味を他の人の興味にする」というフレーズが気に入った。伝わらない発表は意味がないので、データの表し方を工夫するなど、相手に伝わる発表をしたい。
- 東ソーでは、大気汚染につながる有害物質の排出量を10年で5分の1にまで抑えたり、産廃の99%以上を再資源化したりしていることを知り、環境に配慮した企業だと感じた。工場見学では大きな塩の山や複雑に入り組んだパイプが大迫力で印象的だった。

■ 第3回講座 11月22日(木)～25日(日)

待ちに待った屋久島研修！！

台風で延期になった「屋久島研修」が、11月22日（木）～25日（日）の3泊4日のスケジュールで実施されました。移動日明けの研修1日目は屋久島環境文化村センターで研修を行った後、千尋の滝を見学、午後からイテゴ川の河川調査を行いました。研修2日目は、朝から平内川などの河川調査も行い、夕食後に河川調査結果の発表会を行いました。研修最終日は、ヤクスギランドを見学し、弾丸スケジュールの屋久島研修を無事やり遂げました。



参加者31名（内、徳山高校生18名）

～生徒の感想～

- 写真で見るよりもずっと雄大でありのままの自然環境を知ることができ感動した。本州よりも南に位置し、かつ多雨であるために起こる気候の違いや植生の違いを身をもって感じる事ができました。
- 河川調査では初対面の人と協力して活動するため、初めはとても不安でした。しかし、器具をどう使うのか、どうすれば上手に生物を捕まえられるのかを皆と話していくうちに、コミュニケーションをとることができるようになっていて、とても楽しかったです。
- 今回の河川調査で、同じ島内でも川によってさまざまな違いがあることが見うけられました。なぜそのような違いが生じるのか、そしてそれはどのようなメカニズムなのかということを考えて発表することができました。

<今後の予定>

■ 第7回講座 1月27日(日)

これまで計6回の講座を開催した山口県生徒環境講座。その集大成として、来る2月10日（日）の「環境フォーラム」に向けて、発表ポスターの準備を行う予定です。

今後のSSH行事予定 (1月下旬～3月)

■ 課題研究校内発表会（@徳山高校；視聴覚教室）

2月4日（月）理数科2年次生

■ 周南市から発信！

山口県生徒環境フォーラム（@さくらホール）

<科学技術人材育成重点枠による発表会>

2月10日（日）本校及び他校生徒（重点枠講座参加者）

■ 第1回探究学習成果発表会（@山口健康福祉センター）

3月10日（日）

■ 本校SSH課題研究発表会・活動報告会

（@周南市文化会館／徳山高校；体育館・柔剣道場）

3月14日（木）

■ 「科学の甲子園」全国大会（@リニッシティ・埼玉）

3月15日（木）～18日（日）